

早期肥大性に優れ A 品率の高いカンショ

「ベニアズマフリー系 114」

みんなで進めよう
茨城農業改革

茨城県農業総合センター
生物工学研究所・農業研究所

カンショ「ベニアズマフリー系 114」は早期肥大性の向上、高品質化を目標に選抜されたウイルスフリー系統です。また、現在普及している「B-27」に比べ早期肥大性に優れ、上いも重、ML 重が重いため、多収となり早掘りにも適します。蒸しいもにした際の食味はほぼ同程度です。いもの外観品質に優れるため収穫物の A 品率が高く、カンショの高品質生産が期待できます。

「フリー系 114」の品質・収量

早掘り、普通掘りのどちらにおいても「B-27」に比べ上いも重、ML 重が重く多収となります。上いも個数はほぼ同程度ですが 1 個重は重くなります。

A 品率は「B-27」同等で高く、早期肥大性に優れるため、早掘り栽培においても高品質生産が可能となります。

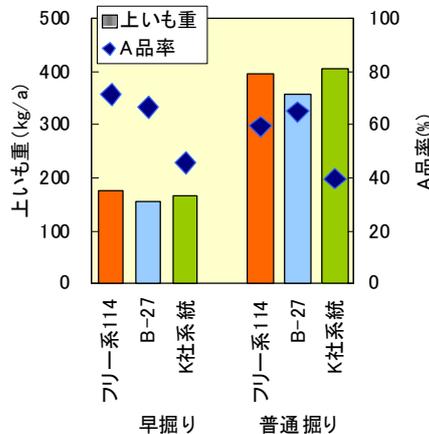


図1.「ベニアズマフリー系114」の収量・A品率
生物工学研究所における4年間の平均

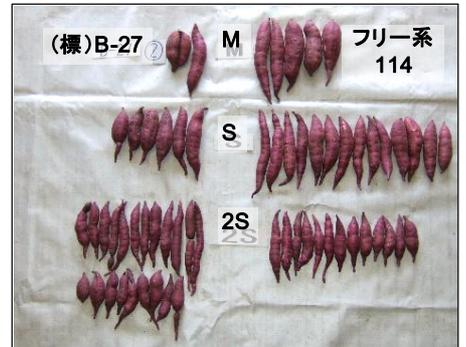
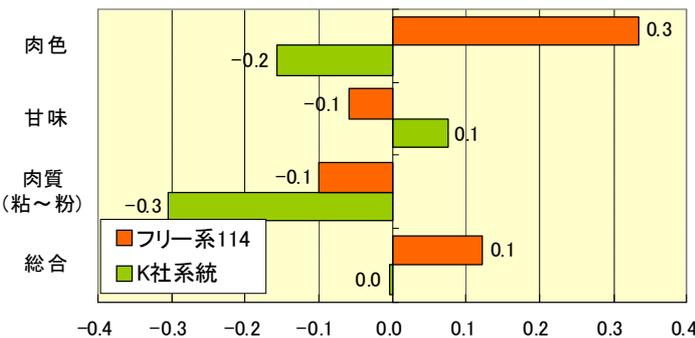


図2. 早掘り区での規格別形状

蒸しいもの食味



蒸しいもにした際の肉質は「B-27」よりやや粘質ですが、「ベニアズマ」らしいホクホクとした食感です。肉色は黄で「B-27」より優れます。蒸しいもの総合的な食味は「B-27」と同程度です。

図3. 蒸しいもの食味官能試験(早掘り区)
「B-27」を基準(0.0)とし、-5(劣)～5(優)の11段階評価の平均値。肉質は-5(粘質)～5(粉質)。

栽培にあたっての留意点

表層腐食質黒ボク土など、肥沃な土壌では過肥大を避けるため栽植密度、施肥量などに留意する必要があります。また、地域による適応性が異なりますので導入の際は留意してください。

<問い合わせ先;生物工学研究所 普通作育種研究室 電話 029-239-7212>